

平成22年度

「心の元気！」1000人フォーラム

高等学校・特別支援学校高等部会

実践発表資料

広島県立三次高等学校

教諭 森 多 浩 文

平成22年度 三次高校道徳教育推進体制

◎推進委員会

校長

教頭

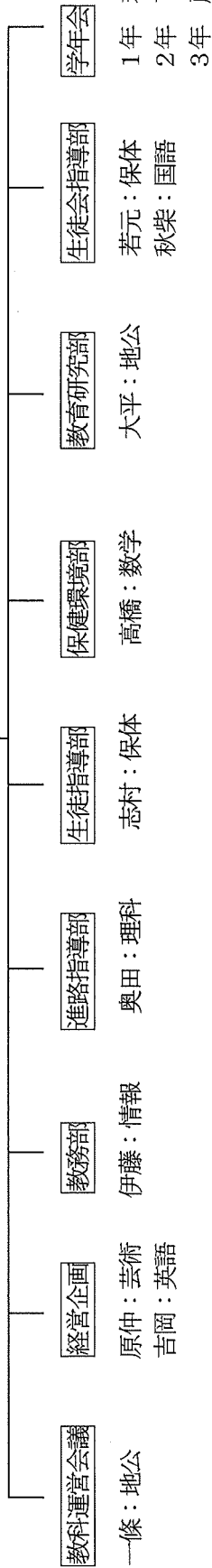
道徳教育推進会議 — 校務運営会議

◎運営委員会

道徳教育推進会議

主幹教諭 (福井：地公)

道徳教育推進者 (森多：保体)



研究部会

授業研究部会 ○一條・西村・秋柴・奥田

①年間計画表・各教科年間指導計画表・「こころのキャリアノート」活用授業計画表の作成

②「先人・先輩に学ぶ」指導案の作成

③授業展開の工夫

資料分析研究部会 ○伊藤・吉岡・大平・原仲

①「道徳アンケート」の作成

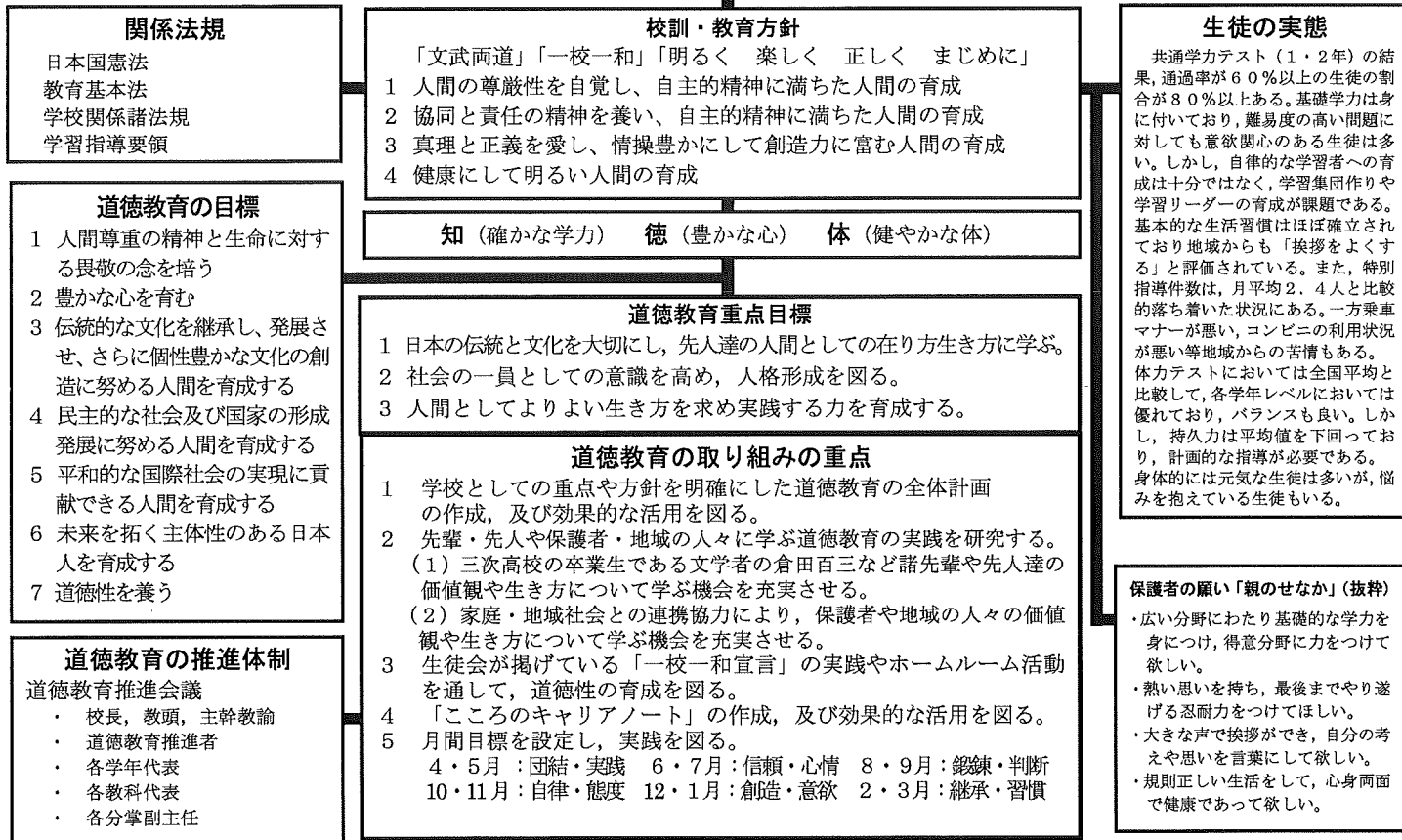
②アンケートの分析

特別活動研究部会 ○若元・高橋・志村・藤川

①「こころのキャリアノート」作成

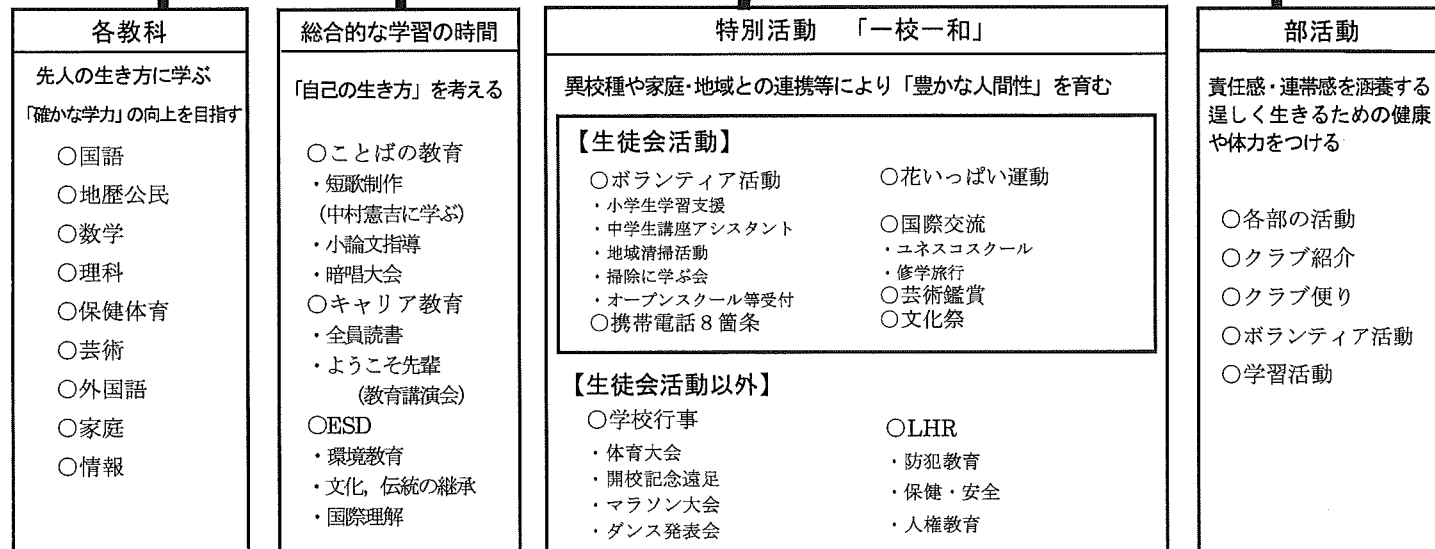
② 体験活動・ボランティア活動の実施

誇りある三高生 逞しい三高生



各学年の重点目標

1 学年会 自覚（耕す）	2 学年会 誇り（育む）	3 学年会 責任（展ばす）
○三高生としての自覚をもたせ、地域から信頼され期待される生徒を育成する。 ・仲間を尊重する態度を養う ・お互いの学習環境を醸成する ・健康に留意する態度を養う	○三高生としての誇りが持てる生徒を育成する。 ・仲間を理解し、信頼し、協力する ・自律的主体的な学習集団を醸成する ・心身を鍛える態度を養う	○三高の最高学年としての責任ある行動がとれる生徒を育成する。 ・一校一和を実践し生徒間の絆を深める ・自己の価値観や職業観を養う ・誇りある三高・逞しい三高を実現する
学年の取り組み ・あいさつ、掃除の徹底 ・学習ガイダンス、学習合宿の実施 ・学習リーダーの育成 ・「がんばるノート」の定着（時間の有効利用） ・「親のせなか」 ・高杉良「炎の経営者」	学年の取り組み ・あいさつ、掃除の徹底 ・自学自習の定着 ・海外修学旅行の実施（姉妹校との交流） ・文に100%、武に100%の実践 ・倉田百三「光り合ういのち」	学年の取り組み ・あいさつ、掃除の徹底 ・センター試験全員受験 ・部活動学校行事でのリーダー性の発揮 ・山本周五郎「殉死」



道徳教育と関連する指導を含む領域の年間計画表

※①②③は対象学年を示す。特に明記していないものは全学年を対象としている。各教科での取組は提出されたシラバスを元に作成した。()内は指導のねらいなどを示している。

※○印は、「心のキャリアノート」を作成する

学期	月	目標	特別活動		総合的な学習の時間	各教科での取組		○ボランティア活動 (心のキャリアノート作成)
			生徒会活動 学校行事	HR活動等		地歴公民科	地歴公民科以外	
前期	4月	団結・実践	入学式(礼儀) 対面式(愛校心) クラブ紹介(個性や立場を尊重) 生徒総会(集団生活の向上) 開校記念遠足(愛校心)	挨拶・掃除の徹底 ○1年学習合宿(それぞれの個性や立場を尊重)	短歌の制作(豊かな心) ○とことん読書「高瀬舟」	地② 自然環境と生活(自然愛、郷土愛、愛国心) 地③ グローバル化する現代世界(他者の個性尊重・寛容) ウェゲナー(真理探究) 日② 旧石器・縄文・弥生時代(先人の生活と知恵に学ぶ) 相沢忠洋(真理探究) 日② 古墳文化(先人の生活と知恵に学ぶ) 日③ 明治維新…日本の国の行方 岩倉使節団(愛国心・国家の発展) 地球環境とわたしたちの未来(自然愛) 現① 現代社会の特質とわたしたちの生活(公德心 他者理解)	音 校歌 井上三喜夫 ①(高い目標・愛校心) 生 ロバートフック ②(真理探究) 家 人生を見つめる・青年期の課題 ①(自己実現・調和のある生活) 国 芥川龍之介「羅生門」 ①(自己を見つめる)	
	5月	信頼・心情	○クラスマッチ(よりよい校風を樹立する) 進路講演会(自己を見つめる)	挨拶・掃除の徹底 進路ガイダンス(自己を見つめる) ○防犯教室(社会の秩序と規律を高める)	短歌の制作(豊かな心)	世② 「ソクラテス・プラトン・アリストテレス」(倫理) 日② 飛鳥文化…仏教伝来(日本文化の源流) 日② 奈良仏教…行基・鑑真の活動(公德心・社会連携・秩序規律) 現① 現代社会と青年の生き方(自己理解・他者理解)	化 ② 「無機物質」オゾン層の破壊(自然愛護・畏敬の念) 家 ① ともに生きる・家庭と家族関係・男女の平等と相互協力 高齢社会を考える 三浦敬三(家族愛・人格の尊重・尊敬) 保 ① 健康のとらえ方 星野富弘(克己心) 国 ① 小説・中島敦「山月記」(自己を見つめる) 音 やしのみ ②(郷土愛)	クリーンデー(日々の生活や現在の自分があることに感謝) 地域清掃活動(社会連帯の自覚を高める)
	6月	信頼・心情	○体育大会(よりよい校風を樹立する) 中学生講座 花いっぱい運動(豊かな心)	挨拶・掃除の徹底 道徳意識アンケート	短歌の制作「第2回三次高校全国短歌大会への応募」(よりよい校風を樹立) エッセーの制作(2年)(豊かな心)	日② 鑑真(理想の実現・強い意志) 現① 経済のしくみ(公德心 正義) 世② 司馬遷(克己心) 世② 玄奘(真理探究)	外 ② Lesson3 Doctors to the World(国際社会) 家 ① 豊かな食生活・食生活を見直す・日本の食生活の基本・食生活と健康(家族愛・伝統の継承) 家 ② 食品の加工・伝統的な加工食品(家族愛・伝統の継承) 国 ② 詩歌・宮沢賢治「永訣の朝」(生命尊重・家族愛) 情 ネットケット ②(礼儀・場に応じた言動)	中学生講座 受付・授業アシスタント(寛容の心) 地域清掃活動(社会連帯の自覚を高める) クリーンデー(日々の生活や現在の自分があることに感謝)
	7月	鍛錬・判断	中高大連携講座(自己の向上) オープンスクール	挨拶・掃除の徹底 ○性教育(相手の人権を尊重) 心のアンケート実施(自己を見つめ、自己の向上を図る)	短歌の制作(豊かな心)	地② 資源と産業(より高い目標、希望と勇氣、不撓不屈の意志) ジャンヌ・ダルク(強い意志) 世②	生 ② 「生殖と発生」受精と卵巣(生命尊重) シュペルマン(自主的思考) 家 ① 三浦敬三(高齢者への尊敬) 外 ③ アインシュタイン(自己を見つめる) 国 ③ 歴史の群像・司馬遷「項羽と劉邦」	クリーンデー(日々の生活や現在の自分があることに感謝) 地域清掃活動(社会連帯の自覚を高める) 掃除に学ぶ会(感謝) オープンスクール 受付・授業アシスタント(寛容の心)
	8月	鍛錬・判断	重点校合同合宿(自己の向上)	挨拶・掃除の徹底	先輩に学ぶ「中村憲吉」(先人に尊敬と感謝の念)		家 ② 「ビタミンの発見」鈴木梅太郎(先人への尊敬感謝)	小学生学習支援活動(温かい人間愛の精神)
	9月	鍛錬・判断	○学園祭(新しい文化の創造)	挨拶・掃除の徹底	短歌の制作(豊かな心) 小論文演習(公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める)	地② 生活と文化(郷土愛) 日② 鎌倉仏教…民衆の救済(生命の尊重・生きる喜び・畏敬の念) 地③ 杉原千蔵(人類愛)	家 ① 豊かな食生活・食生活と環境(家族愛・伝統の継承) 家 ② 調理実習・高齢者への弁当献立(尊敬・感謝) 食品の加工・地産地消について(家族愛・伝統の継承) 情 ③ プライバシーの権利・著作権と著作権法(法令遵守・権利義務) 国 ① 小説・芥川龍之介「羅生門」(自己を見つめる) 国 ② 随筆・鴨長明「方丈記」(日本文化) 外 ② 戸田奈津子(高い目標)	クリーンデー(日々の生活や現在の自分があることに感謝)

学期	月	目標	特別活動		総合的な学習の時間	各教科での取組		〇ボランティア活動 (心のキャリアノート 作成)
			生徒会活動 学校行事	HR活動等		地歴公民科	地歴公民科以外	
後期	10月	自律・ 態度	クラブオープンスクール	挨拶・掃除の徹底	短歌の制作 (豊かな心)	現① 日本国憲法と基本的人権 (法令遵守 権利の尊重)	生③ ガルピンとベンソン (高め合い)	クラブオープンスクール 受付・誘導案内 (寛容の心)
	中学生講座 花いっぱい運動 (豊かな心)		〇防犯教室 (社会の秩序と規律 を高める) 〇ようこそ先輩講演会 (公德心や社会連帯の 自覚を高める)	小論文演習 (公德心及び社会連帯 の自覚を高め、よりよい 社会の実現に努める)	現③ 基本的人権の尊重 (法令遵守 権利の尊重)	国① 随想・幸田文「材のいのち」 (畏敬の念・自己をみつめる)	家① 装う・健康で安全な衣生活 (家族愛・心身の健康)	クリーンデー 地域清掃活動 中学生講座 受付・授業 アシスタント (寛容の心)
	11月	〇芸術鑑賞 (豊かな心) 〇進路説明会 (自己を見つ める)	挨拶・掃除の徹底	短歌の制作 (豊かな心)	世② 「ルネサンス」(人間) エラスムス(寛容謙虚)	音① 「ふるさと」合奏・合唱グループ 発表⇒協調・協力 (集団の意義・役割と責任・郷土愛)	クリーンデー (日々の生活や現在の 自分があることに感謝)	
	〇防災訓練 (自他の生命尊重)		世界の諸地域 (他者の個性尊重、寛容)	保② 「家族計画と人工妊娠中絶」 (生命尊重)	家② 調理実習・行事食の計画 「うまみの発見」池田菊苗 (家族愛・伝統の継承)	地域清掃活動 (社会連帯の自覚を高 める)		
	12月	創造・ 意欲	入試説明会	挨拶・掃除の徹底	短歌の制作 (豊かな心)	日② 桃山文化 (国際連携・伝統文化)	家① 資源を生かす・環境にやさしい 消費行動 (自然愛護)	クリーンデー (日々の生活や現在の 自分があることに感謝)
	ダンス発表会 (協力してよりよ い校風) 〇修学旅行 (国際的視野)		心のアンケート実施 (自己を見つめ、自己 の向上を図る)	暗唱大会練習 (役割と責任を自覚し 集団生活の向上)	世① ナイチンゲール	保② 加齢と健康 (尊敬感謝)	入試説明会 受付・学校 紹介・中学生質問の応答 (寛容の心)	
1月	継承・ 習慣	3年生センター 試験壮行会 (よりよい校風を 樹立する)	挨拶・掃除の徹底	短歌の制作 (豊かな心)	日② 江戸の学問・教育儒学・国学・ 洋学・政治社会思想、私塾 (社会の発展・真理の探究)	物② 「電気エネルギーの有効利用」 (自然愛護・豊かな心)	地域清掃活動 (社会連帯の自覚を高 める)	
花いっぱい運動 (豊かな心)		挨拶・掃除の徹底	小論文講演会 (公德心及び社会連帯 の自覚を高め、よりよい 社会の実現に努める)	美① 「16歳の自画像」 (人間として生きる喜びを見いだす)	クレーンデー (日々の生活や現在の 自分があることに感謝)			
2月	〇暗唱大会 (役割と責任を自覚し 集団生活の向上) 短歌の制作 (豊かな心) 〇とことん読書	マラソン大会 (やり抜く強い 意志) 進路説明会 (自己を見つ める) 同窓会入会式 (集団の意義に ついての理解)	挨拶・掃除の徹底	現① 江戸の文化…元禄・化政文化 (日本の伝統文化)	家① 住まう・家族のための住まいの 工夫・防災安全を考えた住まい (家族愛・自然愛護)	地域清掃活動 (社会連帯の自覚を高 める)		
〇とことん読書		お世話になった人への たより (感謝)	短歌の制作 (豊かな心)	国① 〇和歌「万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集」 (日本文化)	保① ともに生きる・親の役割と保育、 共に育ちあう関係・子どもの成 長と環境・子どもの権利と児童 福祉	クレーンデー (日々の生活や現在の 自分があることに感謝)		
3月	卒業式 (礼儀) 離任式 (人間愛の精神)	道徳意識アンケート 挨拶・掃除の徹底	短歌の制作 (豊かな心)	保② 働くことと健康 (心身の健康増進)	地域清掃活動 (社会連帯の自覚を高 める)			

倉田百三 「光り合ういのち」

- 1 使用教材 倉田百三『光り合ういのち』より「年少時代」第6節
書誌情報 倉田百三『光り合ういのち』 平成14年2月12日
倉田百三文学館友の会

2 作者略歴

広島県庄原市出身。西田天香の一灯園で深い信仰生活を送る。広島県立三次中学校（現広島県立三次高等学校）から第一高等学校へ進むが21歳で肺結核を患い中退。以後40余歳まで闘病生活が続く。また、神経症を患い、森田正馬の治療を受けている。病床で執筆活動が続け、『出家とその弟子』や『愛と認識との出発』など生命力みなぎる青春文学を世に送り出した。

（フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』より転載）

3 『光り合ういのち』について

本書は倉田百三が49歳の時に執筆した、百三にとって最後の作品である。作品は「幼きころ」「年少時代」の二章からなり、「幼きころ」は百三の5歳頃の様子から書き起こされ、14歳の春、高等小学校を卒業する頃までのことが描かれている。そして「年少時代」にはその後20歳までの三次中学校でのことが描かれている。

今回の道徳教育実践案で素材文として扱う部分は後半の第6節にあたる部分である。この箇所には三次中学校の学生であった倉田百三に影響を与えた様々な先生との関わりが描かれている。

なお本書は昭和15年に初版が出版され、昭和33年に復刊されたが以降絶版になっていたものを、庄原市民のボランティア（「わくわく隊」）の協力も受けながら、倉田百三文学館友の会によって出版されたものである。

4 単元（教材）について

人は生きていく上で、大なり小なり、必ず周囲の人々に支えられ、周囲から何らかの影響を受けながら成長している。そのような周囲の人々の自身への影響を改めて認識するきっかけにすることができれば、今の自分を支えてくれている周囲の人々に対する感情がより豊かになるのではないだろうか、今後の学習者が持つ周囲への視線も一段と深まるのではないかと考え、本教材を選定した。

また、今回取り上げる箇所は三次高等学校の先輩でもある倉田百三がちょうど学習者と同じ年頃でもあるので、学習者も親近感を持って読むことができると思われる。それと同時に、当時の同年代の一学生がどのようなことを考え、何に触発されて自身の人生を生きていたかを知ることが、学習者が自分自身の生き方を見つめ直すにあたってもおおいに参考になるのではないかと思われる。

作品は晩年の作者が青年期を振り返るというスタンスにあるのに対して、学習者は青年期をリアルタイムに生きているという点で、自己を客観視する視点の位置や、深さに差異はあるものの、周囲への視線、自己への視線をより豊かにすることのできる素材として適していると判断し、本教材を選定した。

高杉 良 「炎の経営者」

- 1 使用教材 高杉 良著「炎の経営者」(文春文庫) 第一章 車中直訴
第二章 艱難辛苦

2 作者略歴

1939年、東京都出身。ビジネスマン小説の巨匠として知られる。大学卒業後業界紙「石油化学新聞」に入社。編集長まで務める。業界紙に務めている時急性肝炎で入院、会社に対して負い目を感じたことに加え小学校からの友人だった大竹堅固(当時日本新聞記者)から小説を書くことを薦められ作家として身を立てることを決意。1975年「虚構の城」で作家デビュー。あまりにリアリティのあるストーリー展開で反響をよぶ。初期の作品では大物ではないが逞しく生きるサラリーマン像を描いたものが多いが、時代が下がるにつれダイナミックな起業家や経営者、組織の腐敗にスポットを当ててようになった。(フリー百科事典「ウィキペディア (wikipedia)」より)

3 「炎の経営者」八谷泰造 について

「炎の経営者」として描かれているこの小説の主人公である八谷泰造は、1906年広島県庄原市生まれ。三次中学(現三次高等学校)卒業。代用教員を経験した後、大阪高等工業学校を経て一旦就職し働きながら苦学して大阪帝国大学工学部応用化学科を卒業。日本触媒化学工業(現日本触媒)創業者である。資金繰りが万策尽きる中、一介の町工場の経営者であった八谷が、自分の信念のもと、一面識もない財界の巨頭永野重雄に逃げられない汽車の中で直談判し、出資を承諾させるところからこの小説は始まる。バイタリティあふれる姿がいきいきと描かれる。また工場爆破という事故が起き経営困難に陥るが、社員や家族のことを考え再建していく。その後何度かの経営危機があったが、幾度となく永野らに助けられ、乗り越えていく。八谷の予想通り、1950年代半ばから石油化学工業が勃興期を迎える。関東にも進出。1970年社長室で倒れ亡くなるまでの八谷の一生がつぶさに描かれていく。

4 単元(教材)について

本校道徳教育の重点目標の一つとして、「先人達の人間としての生き方在り方に学ぶ」がある。またさらに、取り組みの重点として「三次高校の卒業生である諸先輩や先人達の価値観や生き方について学ぶ機会を充実させる」とある。本題材の「八谷泰造」は、三次高校の前身である三次中学の卒業で生徒たちの大先輩である。自己の信念のもとどうしても理想を実現していこうと奮闘する姿、経営手腕もさることながらどんな時でも周囲の人(恩人、社員、友人、家族)を大事にする生き方、故郷を大事にする生き方など学ぶべきことが多くあると思われる。前述したように財界の巨頭永野に車中で直談判に及ぶのだが、永野も広島育ちであり二人は同郷ということで話がスムーズに進む部分がある。またその車中直訴の知恵をつけてくれたのも、食客として世話をしていた同じ広島出身の棋士升田幸三であった。「八谷泰造」を理解していくにあたり、まずは第一章、第二章はぜひとも読んでおかなければならないところなので、今回取り上げることにした。この授業を第一歩として全編を読んでくれればと思う。この小説を読み解き、郷土出身の先人の生き様を学ぶことは、郷土を愛する心をはぐくむものであり、また自己の生き方在り方を考える契機となっていくものと考えられる。

高等学校特別活動（道徳）指導案

1 単元名

三次を舞台にした小説，山本周五郎「殉死」を通じて，自己を見つめよう。

2 使用教材

山本周五郎「殉死」（『一人ならじ』新潮文庫）

3 単元（教材）について

○単元（題材）観

本教材は，山本周五郎作の江戸時代の三次を舞台とした短編小説である。

三次を治めていた浅野長治の逝去を受けて，もっとも寵愛を受けていた八島主馬と福尾庄兵衛の二人の武士が，殉死が禁じられた武家社会でどのような生き方をしていくのかを描く。

主君の墓のそばで，その霊をなぐさめながら生きることを選んだ庄兵衛と，国詰めのお側用人に抜擢され，その職を受けた主馬は，相反する道を歩いていく。しかし，殉死が有為の人材を活かすために禁令となったこと認識し，新体制の大名家を支えるために，それぞれの立場で最良の選択をするという点では共通している。一つの集団を支えていくためには，さまざまな役割や考え方が必要であるということに触れ，学習者それぞれの視点で思考を深めることのできる題材である。

山本周五郎は1903年，山梨県に生を受けた。三次の地を訪れたのかどうかや，三次藩の菩提寺である鳳源寺を舞台としたこの作品の執筆動機や経緯などは明らかでない。しかし，本校とも縁の深い鳳源寺という場所で繰り広げられる，三次藩の武士の誇りや価値観の葛藤は，郷土への理解を深め，自己の在り方生き方を考える契機をもたらすものであるといえる。

○指導計画

- 1 抜粋部分以前のあらすじを理解し，抜粋部分を読んで，殉死の禁令に対する庄兵衛・主馬の両者の理解と，それぞれの生き方を選んだ動機を整理する。（1時間）
- 2 庄兵衛・主馬がお互いに対してどのような考えをもっているのかを整理し，自己を振り返り，その考えを表現して意見交流をする。（1時間）

4 題材における道徳性

道徳の内容項目

「主として他の人とのかかわりに関すること」

- ・それぞれの個性や立場を尊重し，いろいろなものの見方や考え方があることを理解して，寛容の心もち，謙虚に他に学ぶ。

「主として自分自身に関すること」

- ・自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

平成22年度 前期 「こころのキャリアノート」活用 授業計画

資料8

		前 期					
	学年	科目	先人等	道徳内容	授業担当者	実施学年・クラス	実施日
国語	1	現文	芥川龍之介「羅生門」	自己を見つめる	白井・石井	1年全クラス	5月下旬
	2	現文	中島敦「山月記」	自己を見つめる	西村・谷	2年全クラス	5月下旬
	3	古典	司馬遷「項羽と劉邦」	自己を見つめる	秋柴・丸山・大森・西村・石井	3年全クラス	7月
数学	1						
	2						
	3						
理科	2	生物	ロバート・フック	真理探究	西・谷藤	2年全クラス	4月
	2	生物	シュペーマン	自主的思考	西・谷藤	2年全クラス	7月
	3	生物	カルビンとベンソン	高め合い	谷藤	3年1, 2, 3組	9月
地歴公民	1	世界史	玄奘	真理探究	谷口・大平	1年全クラス	6月下旬
	2	日本史	鑑真	理想の実現 強い意志	一條・金本・福井	2年全クラス	6月上旬
		世界史B	司馬遷	克己心	大平	2年4・5・6・7	5月下旬月
		地理B	杉原千畝	人類愛	黒木・福井	2年全クラス	9月下旬
	3						
英語	1	英語 I					
	2	英語 II	戸田奈津子	高い目標	福川	2年全クラス	9月上旬
	3	Reading	Albert Einstein	自己を見つめる	吉岡	3年全クラス	6月中旬
保健	1	保健	星野富弘	克己心	森多・志村・小熊	1年全クラス	5月25日
	2						
家庭科	1	家庭基礎	三浦敬三	高齢者への尊敬	山下・藤川	1年全クラス	7月中旬
	2	フードデザイン	鈴木梅太郎	先人への尊敬感謝	山下・藤川	2年フードデザイン	9月中旬
	3						
芸術	1	音楽 I	井上三喜夫	高い目標・愛校心	村川	1年生音楽選択者	6月21日～
	2						
	3						
情報	1						
	2	情報A	ネチケット	礼儀・場に応じた行動	伊藤	2年全クラス	7月下旬

保健 学習指導案

- 1 単元名 「健康のとらえ方」
- 2 先人・先輩 「星野富弘」
- 3 参考資料 「鈴の鳴る道」(偕成社)
- 4 道徳的観点 「克己心」「自己を見つめる」「向上心」
- 5 時間 45分
- 6 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	道徳との関連
導入 7分	発問：「今、健康である」と思っている人？ ○WHO「健康の定義」を理解する。	○健康であるかどうかの判断は何か考える。 ○様々な健康のとらえ方を理解しているか。	
展開 35分	○星野富弘さんについて理解する。 (教科書・資料1) ○「鈴の鳴る道」の音読する。 ○「小さな鈴」の持つ意味を理解する。 ○生徒同士で意見交換をし、考えを深める。 ○「心の小さな鈴」について、教員の経験を聞く。 ○自己を振り返り、前向きな自分の姿について考える。	○「小さな鈴」は「心の小さな鈴」であることを確認する。 ○積極的に意見交換する。 (・前向きな気持ち ・進む勇氣 ・困難に立ち向かう力 ・親や友人、教師の支え ・集団の力)	各自の「心の小さな鈴」を描いているか。 (心のキャリアノート記入) 自己をみつめ、自分自身を高めようとしているか。 (心のキャリアノート記入)
まとめ 3分	発問：あなたにとって健康とはなんですか？ ○心のキャリアノートの提出		

こころのキャリアノート

保健 「星野 富弘」 (鈴の鳴る道)

5月26日 (水)

1年 組 番氏名

- ① 「小さな鈴」とはどういうものだと思いますか。自分のことばで説明してみよう。

人生の整えられた平らな道では鳴らず、でこぼこ道にさしかかるとときに

心の中で揺れて鳴る鈴。音は人それぞれ。

暗く落ち込んでいるときに心の支えになり、明るい気持ちにしてくれるもの。

- ② 自分自身を振り返りながら「鈴の鳴る道」を読んで感じたことを書いてみましょう。

星野富弘さんを知らなかつたけど、この作品で星野さんの人生についてなんとなく
 知ることができました。鈴の鳴る道では、道のでこぼこを人生のでこぼこ道
 とかけた考えがとても深いと思いました。そして、人が心の中にその鈴を、自分だけ
 の鈴を持っている、という考えにとても感動しました。でも、それは星野さん
 だったからこそ気がいたことで、身体に何の不自由もしていない私がそのことに
 気づくのはこの先もずっとなかつたららうと思います。この言葉を知った今、
 私も星野さんと同じ、澄んだ音色で心の中の鈴が鳴り、キラキラと輝く
 ような毎日を送れたらいいなあと思います。今はまだ、キラキラと輝く
 どころか澄んだ音色さえ、今の私の鈴では鳴らすことができないだらう
 と思います。毎日みがいて、キラキラの鈴でキラキラした毎日を送りたいと
 思います。少なくとも心には押さえ込まないようにしたいです。

人生の道のでこぼこを避けて通らない人になりたいです。

し どの道も、輝くと得るものは、ありとせぬ。



1. 学年, 学級 3年1組(40名)

2. 題材名 My Hero

3. 題材について

- 題材観 題材は, 本校のALTが実際に体験した人助けについての文章である。道徳的観点として思いやりある行動について考えさせるのに適した題材だと考えられる。
- 生徒観 生徒は, 英語を文単位で理解するレベルでは十分な力がある。一方で, 英語で書かれた文章の要点を理解しその内容を整理する力を必要としている。また, 読んだ文章に対して積極的に意見を述べることを苦手としている生徒が多い。
- 指導観 身近な話題について, 読んだ文章の要点をつかむ力, および, 読んだ文章に対して積極的に自分の意見を述べようとする態度の育成を図る。また, 道徳的観点としては, 思いやりの心と勇気を持って, 他者のために行動する態度を養う。

4. 題材の目標

- ①読んだ内容について, 自分の意見を積極的に述べる。《関心・意欲・態度》
- ②英文を読んで, 書き手が伝えようとしていることを正確に理解する。《理解の能力》

5. 題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 知識・理解
(読むこと:言語活動への取組) ①読んだ内容について, 自分の意見を積極的に述べようとしている。		(読むこと:正確な読み取り) ①英文を読んで, 書き手が伝えようとしていることを正確に理解できる。	

6. 指導と評価の計画(全1時間)

次	学習内容	評価					評価方法
		ア 関	イ 表	ウ 理	エ 知	評価規準	
1	・語彙の確認 ・内容理解 ・道徳との関連	○		◎		ア①, ウ①	活動の観察, ワークシート

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ①読んだ内容について, 自分の意見を積極的に述べる。《関心・意欲・態度》
- ②英文を読んで, 書き手が伝えようとしていることを正確に理解する。《理解の能力》

(2) 観点別評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 知識・理解
(言語活動への取組) ①読んだ内容について, 自分の意見を積極的に述べようとしている。		(正確な読み取り) ①英文を読んで, 書き手が伝えようとしていることを正確に理解できる。	

(3) 道徳の視点

思いやりの心と勇気を持って, 他者のために行動する態度を養う。

(4) 準備物

(5) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
導入 (3分)	<p><u>Presentation of the new materials</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新出語句の確認 《ワークシート1》 ・NewWordsの意味を確認しながら発音を練習する。 	アクセントの位置に気をつけて発音するよう指示する。		
展開 (27分)	<p><u>Comprehension1</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内容理解 《ワークシート2》 ・ワークシートにある本文に関する発問を確認した後, 英文を聞いて発問に答える。 ・指名された生徒は, 口頭で答えを発表する。 <p>● <u>道徳との関連</u> 《ワークシート3》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「英文に書かれている体験から学んだこと」についてグループで考える。 ・各グループの発表者が口頭で発表する。 	<p>発問に答えるときには, 英文のどこからヒントを得たか根拠を明らかにするよう助言する。</p> <p>話し合いおよび発表が円滑に進むよう, 話し合いに入る前に司会者, 記録者, 発表者を決めさせる。</p>	ウ① ア①	ワークシート 活動の観察
	<p><u>Comprehension2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内容理解《ワークシート4》 ・ワークシートにある本文に関する発問を確認した後, 英文を聞いて発問に答える。 ・指名された生徒は, 答えを板書する。 	まずは, 英文のどこにヒントがあるかを探し根拠を明らかにしてから, 日本語で答えるよう助言する。	ウ①	ワークシート
まとめ (15分)	<p><u>Consolidation</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>道徳との関連</u> 《ワークシート4》 ・他者のために行動することについて, 自分の体験や考えを書く。 <p><u>Closing</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを回収する。 	他者のために行動するためには, 思いやりの心と勇気がひつようであることに気づかせる。また, この道徳的観点を自分の体験と結びつけて考えるよう促す。		

class no. name

◎CRITICAL THINKING◎

(1) この男の人以外の人は、なぜおばあさんを助けようとしなかったと思いますか？

まわりの人は、おばあさんを助けなければいけないと思ったと思う
 でも、即座に行動に移すのはとても難しく、とても勇気がいる
 ことだったから。

(2) あなたがこの場面に出くわしたら、おばあさんを助けますか？それはなぜですか？

私はおばあさんを助けたいと思うけど、ちゃんと考えたことを
 行動にうつせるかどうかは自信がない。だけど、この話を読んで
 自分もこのように助けに行ける人になりたい。

(3) あなたは、今までにこのような場面に出くわしたことがありますか？

そのときの自分の行動や考えを書きなさい。また、今振り返って体験についてどう思うか書きなさい。

私が小学生の時、親と電車に乗って、た時、私が座っている
 横におばあさんが荷物を持って立っていました。
 私は勇希を出して、おばあさんに声をかけ、席を譲ることに
 できました。そのおばあさんは、笑って「ありがとう」と言ってくれ
 とても嬉しかったです。その後、母にもほめられ、人を助ける
 ことは、こんなに気持ち良く、嬉しくなることなんだと感じ
 ました。でも、大きくなるにつれ、なかなか行動することが難しく
 思うようになりました。でも、これからちゃんと行動できるよう
 になりたいです。

意識に関する項目		当ては まらない	当ては まる	行動に関する項目		当ては まらない	当ては まる
1	規則正しい生活習慣を心がけ、健康な生活を送るよう努力している。	25.8	74.2	規則正しい生活をしている。 3食の食事を規則正しく摂っている。		48.4	51.6
2	将来のためにも、今頑張りたいと思っている。	8.0	92.0	何か目標をたてたらそれをやりきることができる。 学習や部活動に目標を持っている。		28.9	71.1
3	自律を意識し、責任ある行動をとっている。	22.0	78.0	よくないことだとわかっていても、友達がやるので自分もやる。 時間をみて行動している。		12.0	88.0
4	自分の理想の実現に向かって努力している。	18.5	81.5	学習での自分の目標実現に向けて、積極的に努力をしている。 学習方法や部活動の練習は、自分なりに工夫をしている。		29.9	70.1
5	自己を見つめ、個性を伸ばそうと努力している。	26.7	73.3	自分の短所や長所を理解している。 自分の長所や個性を理解し、それを伸ばさずよう努力している。		22.4	77.6
6	礼儀を重んじ、時と場合に応じた言動をとっている。	8.5	91.5	近所の人に会ったときは、挨拶をしている。 時と場合、相手に応じて言葉遣いをきちんとしている。		4.0	96.0
7	人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている。	5.2	94.8	「うざい」「きもい」「死ね」などと言う。 悪口や中傷を言ったり、インターネットに書き込んだりする。		44.5	55.5
8	友情を大切にし、互いに励まし合い、高め合っている。	4.8	95.2	人が困っているときは、進んで助けている。 友達と協力して物事に取り組んでいる。		92.8	7.2
9	異性を理解し、相手を尊重している。	12.0	88.0	性別に関係なく、友達つきあいができる。 異性を大切にし、尊重している。		5.2	94.8
10	自分と異なる考え方を理解し、受け入れている。	14.1	85.9	自分と合わない意見には耳をかさない。 多くの人から学ぼうとしている。		17.7	82.3
11	現在の自分や、生活に多くの人の支えがあることに感謝する気持ちがある。	9.2	90.8	自分の生活を支えてくれる人がいると感じている。 「ありがとう」が言える。		16.8	83.2
12	生命の大切さを理解し、自他の生命を尊重している。	8.8	91.2	自分自身を大切にしている。 人間や動植物の生命を尊重し、行動している。		10.0	90.0
						2.4	97.6
						17.7	82.3
						16.5	83.5

13	美しいものや、自然のすばらしさを感じ、それらを守ろうという気持ちがある。	18.8	81.2	美しいものや、自然に感動することがある。 日常生活で、節水や節電などに心がけている。	20.0	80.0
14	弱さや難さを克服する力があると信じ、前向きに生きようとしている。	23.0	77.0	弱い自分を奮い立たせることができる。 自分の短所を改善しながら、前向きに取り組んでいる。	34.1	65.9
15	法やまもりを守り、社会の秩序や規律の向上に努めている。	19.3	80.7	交通ルールを守り登下校している。	43.8	56.2
16	社会の一員として他と連携し、よりよい社会の実現のため、努力する気持ちがある。	24.0	76.0	駅やコンビニなど公共の場所で、地面に座ったり大声で話したりする。 自分は社会の一員であるという自覚がある。	29.8	70.2
17	正義感を持ち、差別や偏見のない社会の実現に努めている。	36.0	64.0	ボランティア活動に参加している。	8.0	92.0
18	自分の属する集団において、自己の役割と責任を自覚して、よりよい集団となるために努力している。	23.6	76.4	よくないことを見て見ぬふりをしてしまうことがある。 人を差別したり、偏見によって判断したりしてしまうことがある。	86.8	13.2
19	勤労の大切さを理解し、社会や福祉の発展のために奉仕する気持ちがある。	32.4	67.6	学級での自分の役割は責任をもって果たしている。 学級のみならず協力して物事に取り組んでいる。	35.6	64.4
20	家族を愛し、家族の一員として自覚を持ち、家庭生活を送っている。	18.0	82.0	働くことは大切なことだと考えている。 社会の一員として自分の仕事を持ち、力を発揮したいと考えている。	77.3	22.7
21	この学校を誇りに思う。	28.8	71.2	家族を大切にしている。 家庭で自分の役割を持ち、家族に貢献している。	14.1	85.9
22	自分の郷土を愛し、その発展のために努力しようという気持ちがある。	41.2	58.8	学校行事など積極的に取り組んでいる。 監督の先生がいなくても掃除をきちんとしている。	39.8	60.2
23	日本を愛し、伝統を継承し、新たな文化を創造しようという気持ちがある。	41.9	58.1	自分の生まれ育った場所を自慢できる。 自分の生まれ育った場所を大切にしようと考えている。	21.2	78.8
24	国際社会の中の日本人であるという自覚を持ち、世界平和に貢献しようという気持ちがある。	23.6	76.4	日本という国が好きだ。 日本文化や伝統を理解し、良さを受け継いでいきたいと考えている。 募金など人類の幸福に貢献する活動をしている。	30.9	69.1
				異文化への理解を深める機会があればいいと思う。	28.8	71.2
					13.2	86.8
					16.8	83.2
					34.5	65.5
					60.8	39.2
					28.0	72.0